

骨塩定量検査

検査方法

骨塩定量とは、X線を使用して骨の中の骨塩量(カルシウム、ミネラル量)を測定し、骨粗鬆症（こつそしょうしょう）、加齢による骨の変化を調べる検査です。

測定部位が主に腰椎、大腿骨近位部なので検査台に仰向けに寝ていただきます。

撮影装置が動くので体を動かす必要はありません。

検査時間

おおよそ 15 分です。

その他・注意事項

- 検査部位によって金属やプラスチック類（ボタン等）がある場合、検査着に着替えていただくことがあります
- 検査前に食事制限等はありません
- 検査中に体動があると検査結果の精度が落ちますので、測定が終了するまではなるべく動かないようにお願い致します